

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第42期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	ジーエフシー株式会社
【英訳名】	GLOBAL FOOD CREATORS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西村 公一
【本店の所在の場所】	岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の1
【電話番号】	(058)387-8181(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 飯尾 照男
【最寄りの連絡場所】	岐阜県羽島郡笠松町田代978番地の1
【電話番号】	(058)387-8181(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 飯尾 照男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第2四半期 連結累計期間	第42期 第2四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	10,130,093	10,587,088	24,478,780
経常利益又は経常損失() (千円)	10,612	16,396	783,046
四半期純損失()又は当期純利益(千 円)	53,313	9,924	466,235
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	26,453	22,273	497,657
純資産額(千円)	14,083,410	14,441,024	14,607,520
総資産額(千円)	18,214,525	17,151,117	17,528,328
1株当たり四半期純損失金額()又は 当期純利益金額(円)	9.24	1.72	80.81
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	77.3	84.1	83.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,249,780	28,630	789,609
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	26,805	54,370	22,321
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	144,484	145,008	144,687
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	6,244,099	5,551,231	5,779,242

回次	第41期 第2四半期 連結会計期間	第42期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	10.44	2.76

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融緩和等への期待感から、円安の進行や株価の回復等により、景気回復の兆しが見られるものの、原材料価格の高騰等の懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、市場規模に拡大が見込めない厳しい状況が続いております。また、消費者の食の安全・安心に対する関心が一層高まるとともに、低価格志向・節約志向が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループでは、市場競争力の高い商品の企画開発力の強化に注力するとともに、珍味・和食を中心とした業務用食材の専門性を高め、より一層きめの細かい営業活動を実施することにより、市場でのシェアアップに全力を傾けると同時に、国内外の新規販路開拓に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は105億87百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業損失41百万円（前年同四半期は営業損失12百万円）、経常損失16百万円（前年同四半期は経常利益10百万円）、四半期純損失9百万円（前年同四半期は四半期純損失53百万円）となりました。

なお、当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態の分析

（資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、171億51百万円（前連結会計年度末は175億28百万円）となり、3億77百万円減少いたしました。商品及び製品の増加（7億91百万円から11億2百万円、3億11百万円増）があったものの、受取手形及び売掛金の減少（34億78百万円から30億9百万円、4億68百万円減）並びに現金及び預金の減少（54億79百万円から52億51百万円、2億28百万円減）が主な要因であります。

（負債の状況）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、27億10百万円（前連結会計年度末は29億20百万円）となり、2億10百万円減少いたしました。支払手形及び買掛金の増加（17億77百万円から18億96百万円、1億18百万円増）があったものの、未払法人税等の減少（3億16百万円から11百万円、3億4百万円減）が主な要因であります。

（純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、144億41百万円（前連結会計年度末は146億7百万円）となり、1億66百万円減少いたしました。配当金の支払額等により利益剰余金が1億54百万円減少したことが主な要因であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ6億92百万円減少し55億51百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、28百万円（前第2四半期連結累計期間は12億49百万円収入）となりました。これは主に売上債権の減少額4億68百万円並びに仕入債務の増加額1億18百万円があったものの、たな卸資産の増加額3億18百万円並びに法人税等の支払額3億5百万円により、資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、54百万円（前第2四半期連結累計期間は26百万円収入）となりました。これは主に有価証券の償還による収入9億円並びに投資有価証券の償還による収入1億7百万円があったものの、有価証券の取得による支出7億7百万円、投資有価証券の取得による支出3億円並びに有形固定資産の取得による支出55百万円により、資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1億45百万円（前第2四半期連結累計期間は1億44百万円支出）となりました。これは主に配当金の支払額1億45百万円により、資金が減少したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,870,000
計	21,870,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,769,040	5,769,040	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	5,769,040	5,769,040	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	5,769,040	-	2,344,021	-	2,295,156

(6) 【大株主の状況】

平成25年 9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社ニシムラ	岐阜県岐阜市菅生 2 丁目 6 - 1	14,920	25.86
ジーエフシー取引先持株会	岐阜県羽島郡笠松町田代978 - 1	6,761	11.71
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町 8 丁目26	2,880	4.99
ジーエフシー従業員持株会	岐阜県羽島郡笠松町田代978 - 1	2,459	4.26
株式会社大垣共立銀行 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	岐阜県大垣市郭町 3 - 98 (東京都中央区晴海 1 丁目 8 - 12 晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワーZ 棟)	1,890	3.27
西村牧子	岐阜県岐阜市	1,820	3.15
西村悦郎	岐阜県岐阜市	1,700	2.94
西村美枝子	岐阜県岐阜市	1,700	2.94
十六リース株式会社	岐阜県岐阜市神田町 7 丁目12番地	660	1.14
西村健久	静岡県藤枝市	627	1.08
計	-	35,417	61.39

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年 9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,768,600	57,686	-
単元未満株式	普通株式 340	-	-
発行済株式総数	5,769,040	-	-
総株主の議決権	-	57,686	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 株式数の割合(%)
ジーエフシー株式会社	岐阜県羽島郡笠松町田代 978-1	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。
 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
専務取締役	管理本部長兼経理部 部長兼総務部部長	専務取締役	管理本部長兼経理部 部長	飯尾 照男	平成25年6月26日
取締役	管理本部副本部長兼 経営企画室室長	取締役	経営企画室室長	丹羽 淳	平成25年6月26日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,479,242	5,251,231
受取手形及び売掛金	3,478,105	3,009,962
有価証券	1,692,032	1,799,738
商品及び製品	791,245	1,102,879
原材料及び貯蔵品	70,073	77,009
繰延税金資産	91,682	102,912
その他	123,819	100,136
貸倒引当金	12,830	7,800
流動資産合計	11,713,370	11,436,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	891,281	864,783
機械装置及び運搬具(純額)	119,448	110,079
土地	3,800,175	3,800,175
建設仮勘定	-	1,000
その他(純額)	23,798	61,109
有形固定資産合計	4,834,703	4,837,146
無形固定資産	54,450	76,597
投資その他の資産		
投資有価証券	653,121	534,186
繰延税金資産	60,439	61,663
その他	222,488	214,803
貸倒引当金	10,245	9,352
投資その他の資産合計	925,803	801,301
固定資産合計	5,814,958	5,715,046
資産合計	17,528,328	17,151,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,777,755	1,896,503
未払法人税等	316,249	11,416
賞与引当金	139,489	199,255
役員賞与引当金	6,015	1,495
その他	303,938	233,983
流動負債合計	2,543,447	2,342,653
固定負債		
退職給付引当金	221,489	232,623
役員退職慰労引当金	112,465	90,010
その他	43,406	44,806
固定負債合計	377,360	367,439
負債合計	2,920,807	2,710,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,344,021	2,344,021
資本剰余金	2,295,156	2,295,156
利益剰余金	9,958,351	9,804,203
自己株式	132	132
株主資本合計	14,597,397	14,443,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,123	2,224
その他の包括利益累計額合計	10,123	2,224
純資産合計	14,607,520	14,441,024
負債純資産合計	17,528,328	17,151,117

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	¹ 10,130,093	¹ 10,587,088
売上原価	8,408,544	8,797,539
売上総利益	1,721,548	1,789,549
販売費及び一般管理費	² 1,734,220	² 1,831,394
営業損失()	12,672	41,845
営業外収益		
受取利息	11,013	7,031
受取配当金	1,917	1,935
受取賃貸料	3,412	2,598
貸倒引当金戻入額	-	5,923
その他	7,754	8,103
営業外収益合計	24,097	25,592
営業外費用		
有価証券売却損	50	-
賃貸収入原価	761	143
営業外費用合計	812	143
経常利益又は経常損失()	10,612	16,396
特別利益		
固定資産売却益	13,512	165
特別利益合計	13,512	165
特別損失		
固定資産売却損	14,901	63
固定資産除却損	42	2,345
投資有価証券評価損	49,817	-
特別損失合計	64,761	2,408
税金等調整前四半期純損失()	40,636	18,639
法人税、住民税及び事業税	27,857	4,648
法人税等調整額	15,180	13,363
法人税等合計	12,676	8,714
少数株主損益調整前四半期純損失()	53,313	9,924
四半期純損失()	53,313	9,924

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	53,313	9,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,860	12,348
その他の包括利益合計	26,860	12,348
四半期包括利益	26,453	22,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,453	22,273
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	40,636	18,639
減価償却費	78,708	74,597
賞与引当金の増減額(は減少)	51,609	59,766
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4,205	4,520
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,910	11,133
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,957	22,455
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,559	5,923
受取利息及び受取配当金	12,930	8,967
有価証券売却損益(は益)	50	-
固定資産売却損益(は益)	1,389	102
固定資産除却損	42	2,345
投資有価証券評価損益(は益)	49,817	-
売上債権の増減額(は増加)	73,323	468,142
たな卸資産の増減額(は増加)	272,826	318,570
仕入債務の増減額(は減少)	1,458,813	118,747
その他の資産の増減額(は増加)	53,218	20,504
その他の負債の増減額(は減少)	72,018	107,948
小計	1,380,782	268,111
利息及び配当金の受取額	13,816	9,129
法人税等の支払額	144,817	305,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,249,780	28,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	700,217	707,706
有価証券の償還による収入	1,301,000	900,000
有形固定資産の取得による支出	27,216	55,977
有形固定資産の売却による収入	53,318	547
無形固定資産の取得による支出	1,020	10,175
投資有価証券の取得による支出	600,000	300,000
投資有価証券の償還による収入	-	107,496
長期貸付金の回収による収入	941	11,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,805	54,370
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	144,484	145,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,484	145,008
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,132,100	228,010
現金及び現金同等物の期首残高	5,111,998	5,779,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,244,099	5,551,231

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

- 1 当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、第3四半期連結会計期間が他の四半期連結会計期間と比べて高く、業績に季節の変動があります。
- 2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
荷造運搬費	406,691千円	438,642千円
給与手当	476,450	510,069
賞与引当金繰入額	172,064	192,365
役員賞与引当金繰入額	2,005	1,495
退職給付費用	31,851	22,646
役員退職慰労引当金繰入額	7,957	6,440
減価償却費	73,065	70,004
貸倒引当金繰入額	4,559	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	6,044,099千円	5,251,231千円
有価証券のうち預入期間が 3ヶ月以内の譲渡性預金	200,000	300,000
現金及び現金同等物	6,244,099	5,551,231

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	144,223	25	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	144,223	25	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額()及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	9円24銭	1円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	53,313	9,924
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額() (千円)	53,313	9,924
普通株式の期中平均株式数(株)	5,768,924	5,768,924

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

ジーエフシー株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安田 豊 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 倉持 直樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジーエフシー株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジーエフシー株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。